



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月1日

上場会社名 タカラスタンダード株式会社  
コード番号 7981 URL <https://www.takara-standard.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 岳夫  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理部管掌 (氏名) 梅田 馨  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日  
配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6962-6002

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	57,237	5.3	2,683	△16.8	2,874	△17.8	1,925	△15.9
2023年3月期第1四半期	54,354	9.0	3,224	△13.4	3,498	△11.1	2,289	△15.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,732百万円 (13.1%) 2023年3月期第1四半期 2,416百万円 (6.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	27.37	—
2023年3月期第1四半期	31.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	273,886	182,419	66.6	2,592.72
2023年3月期	279,878	181,516	64.9	2,579.88

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 182,419百万円 2023年3月期 181,516百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	113,700	3.3	6,600	8.4	6,800	6.4	4,500	8.4	63.96
通期	235,300	3.5	14,100	28.9	14,500	26.2	9,500	12.9	135.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	70,368,194 株	2023年3月期	70,368,194 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2024年3月期1Q	9,816 株	2023年3月期	9,747 株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	70,358,401 株	2023年3月期1Q	73,137,717 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外景気の減速や物価上昇の影響はあるものの、社会経済活動の正常化に伴い個人消費を中心に緩やかな回復基調にて推移いたしました。

住宅市場におきましては、新設住宅着工戸数は持家や分譲住宅の減少により前年を下回っているものの、リフォーム需要は底堅く推移いたしました。

このような事業環境の下、当社グループは、長期化する資材・エネルギー価格高騰への対策として、合理化投資による生産性の向上やデジタル技術の活用に取り組むとともに、2023年4月にシステムキッチンや洗面化粧台について前年度に引き続き価格改定を実施し、収益力の改善を図ってまいりました。また、2023年8月よりシステムバスについても価格改定を予定しており、今後も更なる収益力強化を推進してまいります。

リフォーム市場への取組みにつきましては、当社認定工事店の研修施設「大阪トレーニングベース」を2023年6月に新設いたしました。前年度の横浜に続き2拠点を開設となり、今後更に拡大が見込まれるリフォーム需要に対応するため、施工力の増強を推し進めてまいります。また、需要の掘り起こしを目的に「大分ショールーム」を移転・リニューアルを行い、ショールームの充実にも注力してまいりました。

以上の諸施策の推進により、第1四半期連結累計期間における売上高は過去最高となりましたが、利益面では2023年度実施の価格改定の効果が第2四半期以降に本格的に寄与することから、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高572億3千7百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益26億8千3百万円（同16.8%減）、経常利益28億7千4百万円（同17.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益19億2千5百万円（同15.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①住宅設備関連事業

当セグメントの売上高は571億6千7百万円（前年同四半期比5.3%増）、営業利益は26億2千2百万円（同17.1%減）となりました。

当セグメントの製品部門別の状況は、次のとおりであります。

##### a キッチン

新築市場、リフォーム市場ともに前年度実施の価格改定の効果もあり、順調に売上が拡大しました。新築市場におきましては木製システムキッチンの拡販が進み、リフォーム市場におきましては中高級シリーズのホーローシステムキッチン「レミュー」・「トレーシア」の拡販が進んだことから、売上高は340億8千5百万円（前年同四半期比4.3%増）となりました。

##### b 浴室

新築市場、リフォーム市場ともに順調に売上が拡大しました。2022年8月に発売しましたシステムバス「グランSPA」がリフォーム市場を中心に、新築市場でも拡販が進んだことに加え、新築マンション向けシステムバスも順調に拡販が進んだことから、売上高は143億2千万円（前年同四半期比10.9%増）となりました。

##### c 洗面化粧台

新築市場、リフォーム市場ともに前年度実施の価格改定の効果もあり、順調に売上が拡大しました。新築市場におきましては木製洗面化粧台の拡販が進み、リフォーム市場におきましては中高級シリーズのホーロー洗面化粧台「エリーナ」・「ファミリーユ」の拡販が進んだことから、売上高は62億6千8百万円（前年同四半期比4.5%増）となりました。

#### ②その他の事業（不動産賃貸事業及び倉庫事業等）

売上高は1億8百万円（前年同四半期比0.3%減）、営業利益は6千1百万円（同1.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ59億9千1百万円減少し、2,738億8千6百万円となりました。主な減少は、現金及び預金110億4千9百万円であり、主な増加は、棚卸資産23億9千9百万円、売掛金18億7百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、主に流動負債の減少により、前連結会計年度末と比べ68億9千4百万円減少し、914億6千7百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ9億3百万円増加し、1,824億1千9百万円となりました。主な増加は、親会社株主に帰属する四半期純利益19億2千5百万円、その他有価証券評価差額金6億8千3百万円であり、主な減少は、剰余金の配当による18億2千9百万円であります。

この結果、自己資本比率は66.6%（前連結会計年度末は64.9%）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ110億4千9百万円減少し、693億2千6百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は、73億8千8百万円（前年同四半期は14億5千万円の増加）となりました。主な要因は、一部の購入先への支払いを早期化したことによる仕入債務の減少や棚卸資産の増加による資金の減少と、税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の支出は、20億6千7百万円（前年同四半期は12億3千1百万円の支出）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の支出は、15億9千4百万円（前年同四半期は20億4千6百万円の支出）となりました。主な要因は、配当金の支払いによる支出であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年5月11日に発表いたしました連結業績予想については現時点で変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	80,376	69,326
受取手形	4,545	4,523
売掛金	33,376	35,184
電子記録債権	30,824	30,238
商品及び製品	13,602	15,191
仕掛品	4,245	4,506
原材料及び貯蔵品	6,400	6,949
その他	410	1,459
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	173,775	167,373
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,490	24,161
土地	36,765	36,679
その他(純額)	22,113	22,379
有形固定資産合計	83,369	83,220
無形固定資産	1,651	1,586
投資その他の資産		
投資有価証券	12,057	13,046
その他	9,033	8,668
貸倒引当金	△9	△8
投資その他の資産合計	21,081	21,706
固定資産合計	106,102	106,513
資産合計	279,878	273,886

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,953	19,661
電子記録債務	31,937	23,429
短期借入金	8,100	8,100
未払法人税等	1,970	1,072
その他	14,140	16,834
流動負債合計	76,102	69,098
固定負債		
退職給付に係る負債	18,767	18,860
その他	3,492	3,508
固定負債合計	22,259	22,369
負債合計	98,361	91,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,356	26,356
資本剰余金	30,734	30,734
利益剰余金	120,322	120,419
自己株式	△12	△12
株主資本合計	177,402	177,498
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,784	5,467
土地再評価差額金	1,969	1,969
退職給付に係る調整累計額	△2,639	△2,515
その他の包括利益累計額合計	4,114	4,920
純資産合計	181,516	182,419
負債純資産合計	279,878	273,886

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	54,354	57,237
売上原価	35,403	38,152
売上総利益	18,950	19,084
販売費及び一般管理費	15,726	16,401
営業利益	3,224	2,683
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	234	194
その他	66	16
営業外収益合計	302	212
営業外費用		
支払利息	13	11
製品安全対策費用	5	7
その他	10	2
営業外費用合計	28	21
経常利益	3,498	2,874
特別利益		
固定資産売却益	98	4
特別利益合計	98	4
特別損失		
固定資産除却損	129	29
固定資産売却損	80	50
投資有価証券評価損	7	—
減損損失	29	2
創業110周年記念費用	60	—
特別損失合計	307	81
税金等調整前四半期純利益	3,289	2,797
法人税等	1,000	872
四半期純利益	2,289	1,925
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,289	1,925



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	2,289	1,925
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	683
退職給付に係る調整額	117	123
その他の包括利益合計	127	807
四半期包括利益	2,416	2,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,416	2,732
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,289	2,797
減価償却費	1,647	1,713
減損損失	29	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	69	271
受取利息及び受取配当金	△236	△196
支払利息	13	11
投資有価証券評価損益 (△は益)	7	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△18	44
有形固定資産除却損	129	29
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,537	△1,170
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,361	△2,399
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,740	△8,637
その他	854	1,122
小計	3,628	△6,410
利息及び配当金の受取額	236	196
利息の支払額	△13	△11
法人税等の支払額	△2,400	△1,162
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,450	△7,388
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△13	△5
投資有価証券の売却による収入	1	—
有形固定資産の取得による支出	△1,738	△2,131
有形固定資産の売却による収入	559	120
無形固定資産の取得による支出	△42	△59
貸付金の回収による収入	30	24
その他	△27	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,231	△2,067
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,046	△1,594
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,046	△1,594
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,827	△11,049
現金及び現金同等物の期首残高	88,607	80,376
現金及び現金同等物の四半期末残高	86,780	69,326

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額(注) 2
	住宅設備関連				
売上高					
商品及び製品	48,049	—	48,049	—	—
工事	6,234	—	6,234	—	—
その他の売上高	—	9	9	—	—
顧客との契約から 生じる収益	54,283	9	54,292	—	—
その他の収益	—	61	61	—	—
外部顧客への売上高	54,283	71	54,354	—	54,354
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	37	37	△37	—
計	54,283	108	54,391	△37	54,354
セグメント利益	3,164	60	3,224	—	3,224

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び倉庫事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額(注) 2
	住宅設備関連				
売上高					
商品及び製品	50,492	—	50,492	—	—
工事	6,675	—	6,675	—	—
その他の売上高	—	11	11	—	—
顧客との契約から 生じる収益	57,167	11	57,179	—	—
その他の収益	—	58	58	—	—
外部顧客への売上高	57,167	69	57,237	—	57,237
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	38	38	△38	—
計	57,167	108	57,276	△38	57,237
セグメント利益	2,622	61	2,683	—	2,683

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び倉庫事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。